

これまでのテーマ

2011年6月～



- ・ 怒りについて
- ・ 言葉の伝わらなさ
- ・ 時間について
- ・ 働くことについて
- ・ 寂しさについて
- ・ ジェンダー
- ・ 承認と依存
- ・ 解離について
- ・ 母について

メンバーがレポートを書いてきて、それをもとに話し合うことが多いですが、テーマだけを決めて自由に話し合ったり、KJ法を使ったワークショップを試みたり、貴戸さんにミニ講義をしてもらったり（ジェンダーについてなど）いろいろなかたちで開いています。お気軽にお問い合わせください。



特定非営利活動法人フォロ
〒540-0036
大阪市中央区船越町1-5-1
Tel: 06-6946-1507
Fax: 06-6946-1577
E-mail: info@foro.jp

人が「生きづらい」というとき、それを本人の問題（発達障害、精神障害 etc...）に限定してしまうのは、問題を歪めてしまってます。こんなキツキツの社会で、生きづらくない人なんているのかと思います。しかし一方で、「社会の問題」とばかり言っている、自分の生きづらさが解けるわけではありません。自分の生きづらさ、抱える「問題」からこそ、“自分”を通して見える“社会”があり、そこから関係のあり方を模索することができるのではないのでしょうか。そこには、自分にしか解けない問いがあるのでしょう。それを「研究」という切り口で、他者と共有していくことができないか。そうした思いから、「生きづらさからの当事者研究会」、通称“づら研”を開いています。関心のある方、どなたでも、ぜひお問い合わせください。

開催日 月1回 第3月曜日 午後1時～5時

コーディネーター：貴戸理恵（関西学院大学助教）
7月から産休予定です。

事務窓口：山下耕平

連絡先 06-6946-1507（フォロ）
携帯 090-8481-7979（山下）
E-mail:communitas@foro.jp

づら研の作法

- 一、研究は「世のため人のため」ならず。まずは「自分のため」にすべし。
- 一、生きづらさは自分に閉じこめるべからず、開いて他者と共有すべし。
- 一、自分にとって痛いところを要点なり。
- 一、他者の表出はていねいに扱うべし。
- 一、おためごかしは無用のこと。

規約

- 第1条 本会は、自分の生きづらさを自分に閉じこめず、研究を通して他者と問いを共有することを目的とする。
- 第2条 本会の名称を「生きづらさからの当事者研究会」とする。
- 第3条 本会は以下の活動をおこなう。
定例の研究会、会員相互の討論、共同研究、研究成果の発表、シンポジウムなど公開イベント、そのほか研究に必要な活動など。
- 第5条 定例研究会は、毎月第3月曜日、午後1時～5時に開く。定員をおおむね10名とする。
- 第6条 本会の目的に賛同する人は、誰でも参加できる。
参加費は、フォロ会員は500円、会員外は1000円とする。
- 第7条 事務所は、下記におく。
大阪市中央区船越町1-5-1 特定非営利活動法人フォロ